

小牧税務署へ請願署名468人分を提出！

尾北民商は9月19日（火）に、小牧税務署請願行動を行いました。

集会・デモ行進は行わず、支部代表が会員・読者の皆さんから託された請願書を提出しました。当日は各支部から合わせて16人が参加し、前田副会長が請願書を読み上げ、小牧税務署総務課長が受け取りました。併せて提出を督促された収支内訳書を白紙のまま返還しました。

この日は尾北民商全体で合計468人分の請願書を、それぞれの支部の代表が税務署に提出しました。一昨年の311人分、昨年の382人分から大きく積み増しています。

白色申告者への収支内訳書提出の督促をやめさせることや、税務調査における書面による事前通知を行わせることなど、民商は税務行政の民主化を求める闘いに取り組んで来ました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行する中で、税務署は減らしていた調査の件数を大きく増やしています。

10月1日から実施されたインボイス制度は、年売上1千万円以下の免税業者を、商取引から排除されるか生活費を削って納税の負担を負うかの選択に



尾北民商
ニュース

2023年
10月2日号
TEL 0587-54-0524
FAX 0587-54-1390

追い込みます。下請けピラミッドの底辺を崩す産業破壊であり、年売上1000万円以下の業者の人格権・生存権の侵害です。

尾北民商は納税者の権利を守る運動を続けていきます。権利は主張して行使することで確認され、それが私たち全員の営業と生活を守ることにつながります。これからもよろしくお願いします。

インボイス即時廃止！消費税5%引き下げ！県議会へ団体署名を送りました！

民商も参加している消費税廃止各界連絡会は、インボイス制度の即時廃止を求める意見書と、消費税5%引き下げの意見書を国に提出することを求めて、9月の愛知県議会に団体署名の請願書を提出しました。尾北民商もこの動きに合流し、4つの団体署名を送りました。愛

知各界連は9月27日（水）に、各団体から預かったものも合わせて県議会への請願書の提出を行いました。

コロナ禍と物価高騰によって業者は前例のない困難に瀕しています。



そんな中でのインボイス制度の施行は、多くの免税業者が滞納と生活破綻に追い込まれかねません。

消費税の引き下げは、手続きのための新たな組織を作る必要もなく、全ての業者と国民に対しての効果的な支援になります。減税によって軽減税率が無くなればインボイスを導入する根拠も無くなります。

減税の財源は、新型コロナウイルスの流行下でさえ内部留保を積み増している大会社に応分の負担を求めましょう。9月1日に財務省が公表した法人企業統計では資本金10億円以上の企業の内部留保は、前年度から27兆円も増えています。

一方で実質賃金は下がり続け、国民は結婚・出産さえ抑制されています。社会を維持する費用をどこが負担すべきかは明確です。

10月からは新しい署名も始まります。インボイス廃止・消費税減税の運動にご協力ください。

裏面で特集！ インボイス(適格請求書)の書き方！